

令和7年度 第2回 加須市文化財保護審議会 次第

令和8年3月26日(木) 午前10時30分
騎西文化・学習センター 視聴覚室

1 開 会

2 あいさつ 渡辺 章 委員長

小野田 誠 教育長

3 議 事

(1) 令和7年度 文化財保護事業 報告について

(2) 収蔵資料の分散管理及び資料保存の取り扱い基準について

4 そ の 他

5 閉 会

加須市文化財保護審議会委員

No.	氏名	住所	選出区分	所属活動団体等	委員	摘要(専門)
1	渡邊 章 <small>わたなべ あきら</small>	加須市向古河	識見を有する者	元高校教諭	委員長	郷土史
2	関根 雅彦 <small>せきね まさひこ</small>	加須市向川岸町	識見を有する者	元小学校教頭	副委員長	郷土史
3	板垣 時夫 <small>いたがき ときお</small>	白岡市白岡	識見を有する者	さいたま民俗文化研究所 主席研究員	委員	民俗
4	大塚 孝司 <small>おおつか たかし</small>	加須市向古河	識見を有する者	元蓮田市教育委員会	委員	考古
5	岡本 健一 <small>おかもと けんいち</small>	北本市栄	識見を有する者	県立さきたま史跡の博物館 学芸主幹	委員	考古
6	加美山 敦嘉 <small>かみやま のぶよし</small>	加須市陽光台	識見を有する者	建築設計事務所 主宰	委員	建築
7	児玉 典久 <small>こがま のりひさ</small>	行田市若小玉	識見を有する者	元中学校長	委員	古文書
8	後藤 知美 <small>ごとう ともみ</small>	千葉県柏市大室	識見を有する者	独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所 研究員	委員	民俗・美術
9	佐伯 英里子 <small>さえき えりこ</small>	東京都品川区 東五反田	識見を有する者	中央大学非常勤講師	委員	民俗・美術
10	平澤 香 <small>ひらさわ かおる</small>	久喜市上町	識見を有する者	元平成国際大学 特任教授	委員	民俗・地理

令和7年度 文化財保護事業報告について

資料 議事(1) - 1

① 指定文化財の保護

事業名	内 容	備考
市指定史跡「騎西城土塁跡」の保護・管理	土塁整備地の除草作業等	
無形民俗文化財の後継者育成	玉敷神社神楽保存会への補助金交付 獅子舞保存会連合会への補助金交付	
文化財保護管理謝金	指定文化財管理者へ謝金の支払い	
市指定有形民俗文化財(庚申塔石仏)堂宇修理	中妻庚申塔石仏 堂宇修理補助金交付	大利根地域最古の庚申塔 (寛文11<1671>)
市指定有形文化財 龍蔵寺本堂修理工事	龍蔵寺本堂修理 事前調査	令和8年度修理予定

② 埋蔵文化財の保護

事業名	内 容	備考
窓口照会業務	遺跡の所在確認(窓口照会等)の回答	
確認・発掘調査	埋蔵文化財包蔵地内での開発時の試掘調査及び発掘調査の実施	
出土品保存処理委託	木製品保存処理	騎西城跡出土資料
出土品科学分析委託	調査報告書刊行のため、出土品の科学分析を実施(赤外線光分析)	騎西城跡・騎西城武家屋敷跡出土資料
調査報告書の刊行	図版及び原稿等の作成と、調査報告書の刊行	加須市埋蔵文化財調査報告書 第19号

③ 歴史・民俗資料の保護

事業名	内 容	備考
展示・収蔵施設の環境調査	環境調査(カビ・文化財害虫のトラップ調査)を行い、必要な対策を講じる	郷土史料展示室
資料の収集・整理	古文書整理 民俗行事の記録 寄贈資料の整理	獅子舞等
資料の保存と管理	資料の永年保存のため調湿保存剤・防虫剤交換により良好な保存環境の維持をはかる	文書類・民俗資料

④ 文化財の啓発・普及

事業名	内 容	備考
社会科授業の支援	騎西郷土史料展示室・北川辺郷土資料館の出土品・民俗資料の展示解説	小学3年生
講師・職員の派遣	郷土の偉人―田口和美―講演	北川辺文化・学習センター(みのり)コミュ協
資料館等の運営	騎西郷土史料展示室及び北川辺郷土資料館の公開	騎西郷土史料展示室 土・日・祝日開館 北川辺郷土資料館 月曜日以外開館
加須インターネット博物館の運営	web上で加須の文化財を紹介 デジタル文化財マップ作成 (2カ年の2年目)	
文化財紹介	広報かぞ 「歴活―知れば史るほど―」連載	
説明板の修繕	文字・写真等の薄くなった物や き損した物について情報を更新し、修繕実施	3基を修繕
文化財質問回答	市内文化財等についての質問に回答	
市刊行物の頒布	市史・町史・調査報告書・冊子等を頒布	
文化財鑑賞会	「組踊」特別鑑賞会 7/5(土)	

⑤ その他(検討課題含む)

事業名	内 容	備考
施設の維持管理	市内に所在する収蔵・展示施設の防火点検、清掃などを実施	騎西郷土史料展示室・騎西郷土資料室・騎西文化財収蔵庫・北川辺郷土資料館
登録有形文化財	馬内地内の鎌田家住宅の登録有形文化財への申請について	
古文書	古文書目録掲載の所在地確認等	
収蔵資料の分散管理	市内9カ所に分散管理する資料の扱い	
関連団体の支援	加須郷土史研究会・武州加須囃子保存会へ補助金を交付	
東部地区文化財担当者会	埼玉県東部地区文化財担当者会における調査・協議活動	民俗部会活動

中妻庚申塔石仏堂宇 修理(建て替え)事業

資料 議事(1)-1



工事前



工事後

収蔵資料の市内分散管理及び資料保存の取り扱い基準について

資料 議事(2)－1

1 市内9カ所の分散管理の現状

- ・別紙、「現在の考古資料・民俗資料などの保管状況」参照。
- ・「文化財収蔵庫」は建築から50年が経過し、屋根の破損・雨漏りがひどい。
- ・4 地域の民俗資料には、重複する民具・破損している民具も多い。

2 資料移設の際の考え方

- ・市内に分散管理している資料保存の集約化が問題となっている。
- ・現在、民具の受け入れは寄託ではなく、寄贈のみ。
- ・重複民具、破損民具の集約移設時の取り扱い→鳥取県の事例
- ・資料移設時の方針
 - ① これまで地域で保存してきた民俗資料をそのまま移設→収蔵スペースの問題
 - ② 機能を有していない民俗資料(一部欠損する資料)の廃棄→廃棄してよいのか
 - ③ 地域で重複する民俗資料の譲渡→譲渡してよいのか

3 今後の資料の保管場所

- ・公共施設の再編(小学校等)
- ・旧騎西コミュニティセンター

現在の考古資料・民俗資料などの保管状況

資料 議事(2) - 2

	施設名称	所在地	管理	収蔵面積 (㎡)	おもな収蔵物と 収蔵点数(概算)	備考
加須 地域	① 加須東中学校 2階余裕教室	花崎1-22-1	東中学校	66㎡	民俗資料 118 点	考古資料はR3 年度移動済
騎 西 地 域	②騎西 郷土史料展示室 (騎西城)	根古屋633-9	生涯学習課 ※土日・祝祭日 受付直営	22㎡	考古資料 180 箱	展示 小学生が社会 科授業で利用
					写真 2 台(棚)	
					民俗資料 200 点	
③騎西 埋蔵文化財調査室 (騎西城前倉庫)	根古屋633-9	生涯学習課	162㎡	考古資料 860 箱		
西 地 域	④騎西郷土資料室 (旧不動岡高校 騎西分校)	騎西37	騎西総合支所 地域振興課	350㎡	図書 (受入図書・市刊行物) 82 台(棚)	1階に、文化財 整理室
					行政資料 180 箱	
					民俗資料 400 点	
					その他 44 台(棚)	
域	⑤文化財収蔵庫 (旧騎西町体育館)	騎西1334-1	生涯学習課	319/79 3㎡	図書 200 箱	残りをシルバ ー人材セン ター・騎西総合 支所文書庫と して使用
					考古資料 1630箱	
					民俗資料 200 点	
					発掘用具 5 台(棚)	
北 川 辺 地 域	⑥北川辺郷土資料館	麦倉487	生涯学習課 ※土日・祝祭日 受付直営	171㎡	図書(市刊行物在庫) 13 台(棚)	展示 小学生が社会 科授業で利用
					考古資料 30 箱	
					民俗資料 500 点	
					その他 500 点	
大 利 根 地 域	⑦旧南保育所	阿佐間983-1	大利根総合支所 地域振興課	296㎡	民俗資料 120 点	
	⑧大利根文化体育館 格技室倉庫	北下新井 684-1	スポーツ振興課	9㎡	歴史資料 45 箱	大利根町史 (事務室にマイク ロフィルム保管)
					図書(市刊行物在庫) 10 台(棚)	
⑨大利根文化体育館 ステージ脇倉庫	北下新井 684-1	スポーツ振興課	34㎡	図書(市刊行物在庫) 3 台(棚)		

国登録有形文化財(建造物)登録希望について

資料 議事(1)－2

1 希望物件の概要

物件名	鎌田家住宅離れ	納屋	離れの門	母屋の門
所在地	加須市馬内 1490(旧礼羽村)			
建築年	昭和 8 年(1933 年)	明治 31 年(1898 年)	明治時代	明治時代
築年数	92 年	127 年	100 年以上	100 年以上
構造・規模	木造平屋建	木造 2 階建	木造・高麗門	木造・腕木門

- ・鎌田家は旧礼羽村の村長を務めた家
- ・離れは来客対応・接待の場として使用された木造建築。昭和初期の離れ座敷で、地域の歴史的景観に寄与する建造物
- ・納屋は明治 31 年(1898 年)建築と推定され、明治後期の農村建築の様式を今に伝える貴重な建物
- ・母屋は既に解体されている
- ・所有者から登録有形文化財への登録希望の申し出があった
- ・離れは令和 8 年度中の意見具申を希望

2 国登録有形文化財制度の概要

根拠法	文化財保護法(平成 8 年改正により創設)
対象	建築後 50 年以上を経過した建造物
登録基準	① 国土の歴史的景観に寄与 ② 造形の規範となっている ③ 再現が容易でない ※いずれか 1 つ該当で可
規制の性格	届出制・指導助言を基本とする緩やかな保護
補助制度	保存・活用に必要な修理等の設計監理費の補助等 固定財産評価額の一部控除・固定資産税の減税

3 今後のスケジュール(予定)

- 令和 8 年 3 月 埼玉県文化財・博物館課を通じて文化庁へ事前調査希望を申込済
- ↓
- 令和 8 年 3 月 26 日 文化財保護審議会にて報告
- ↓
- 令和 8 年度 文化庁調査官による現地調査の実施
- ↓
- 令和 9 年度 2 月頃 文化庁へ意見具申(離れのみ)→文化審議会の審議(文化庁)→登録(官報告示)
- ↓
- 令和 10 年度以降 文化庁へ意見具申(納屋・門)→文化審議会の審議(文化庁)→登録(官報告示)

糸車ほしい…民具の処分告知に希望者殺到 鳥取の資料館(事例)

於:鳥取県 北栄町立 北栄みらい伝承館

平成 30 年(2018)

鳥取県中部に伝わる民具などを収集・展示する同県北栄町の町立資料館「北栄みらい伝承館」。増えすぎた収集品の処分を前提にした「お別れ展示」を開催し、希望者には譲り渡すと告知したところ、全国から応募が殺到。展示品の8割が引き取られることになった。譲渡は珍しい試みで、収集品の増加に悩む小規模な博物館や資料館にも、ヒントになりそうだ。

お別れ展示の終了まであと2日となった8月24日、展示会場の北栄町役場旧北条庁舎。江戸時代のおけや乗り物・駕籠(かご)のほか、昭和の蓄音機やひな人形などが所狭しと置かれていた。なかには高さ1・5メートルほどの神輿(みこし)もあり、処分対象の約580点すべてがずらりと並んでいた。従来の企画展では来場者は主に地元住民。だが今回は全国から訪れたといい、担当者は「譲渡の効果がこれほどとは……」と驚いていた。

同館は1990年に開館。地元特有の農具「倉吉千歯(千歯こき)」や糸車、玩具などを収集してきた。収集品は現在2200点ほどに上り、約420平方メートルの館内と倉庫に収容するには限界に近い数という。同館の杉本裕史館長は、「集めたくても新たな物を入れられない状況」と話す。 **当時のネットニュースより**